

わらびて

129号



やけやま

● 焼山遺跡 (山田町) の製鉄炉

焼山遺跡は、JR船越駅と山田道路との間に挟まれた、南東に開けた谷の北側斜面地に位置しています。

写真は、古代の製鉄炉です。炉の直径は約60cm、円形に掘り込まれています。底には鉄滓が付着しています。左側には鞆から空気を送り込むための羽口が見えます。羽口の太さは約8cmあり、先端が炉内に出るように設置されています。当時の製鉄炉(3頁:想像図)は中から鉄を取り出すために、ほとんどが壊されますから、このように羽口が操業当時の位置をとどめた状態で出土することは珍しいと言えます。羽口の設置位置や角度など、この製鉄炉は多くの情報を私たちにもたらししてくれます。

古代から続く岩手の鉄文化の謎に迫る貴重な資料です。

(3頁に関連記事)

(公財) 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター 久保賢治

主な内容

- 特集
復興関連調査の成果
- 通常調査の成果
・埋蔵文化財センター
- 埋蔵文化財展
- 埋蔵文化財公開講座
遺跡報告会

【所報名について】 「わらびて」は蕨手刀(わらびてとう)に由来しています。蕨手刀は、奈良～平安時代初期に使われた鉄製の刀で柄頭が早蕨(さわらび)の芽を巻いた状態に似ていることからこうよばれます。群集墳などから出土し、東北地方、特に岩手県で多く出土しています。

特集 復興関連調査

明らかにになる三陸沿岸の歴史

復興関連調査の成果続々

今、東日本大震災で被災した沿岸部の復興のため大規模な公共事業が次々と行われています。このため、沿岸部では今年度県や市町村教育委員会、岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターにより60件を超える発掘調査が行われました。

これほど多くの調査が沿岸部で行われたことはかつてなく、これまで解明されていなかった時代や地域の特性を示す遺跡が多く見つかるなど、成果が上がっています。初めて調査が行われた地域もあり、三陸沿岸の歴史の解明に重要な資料となりました。

洋野町～普代村では、三陸沿岸道路や住宅再建、発電所造成関連の調査がありました。

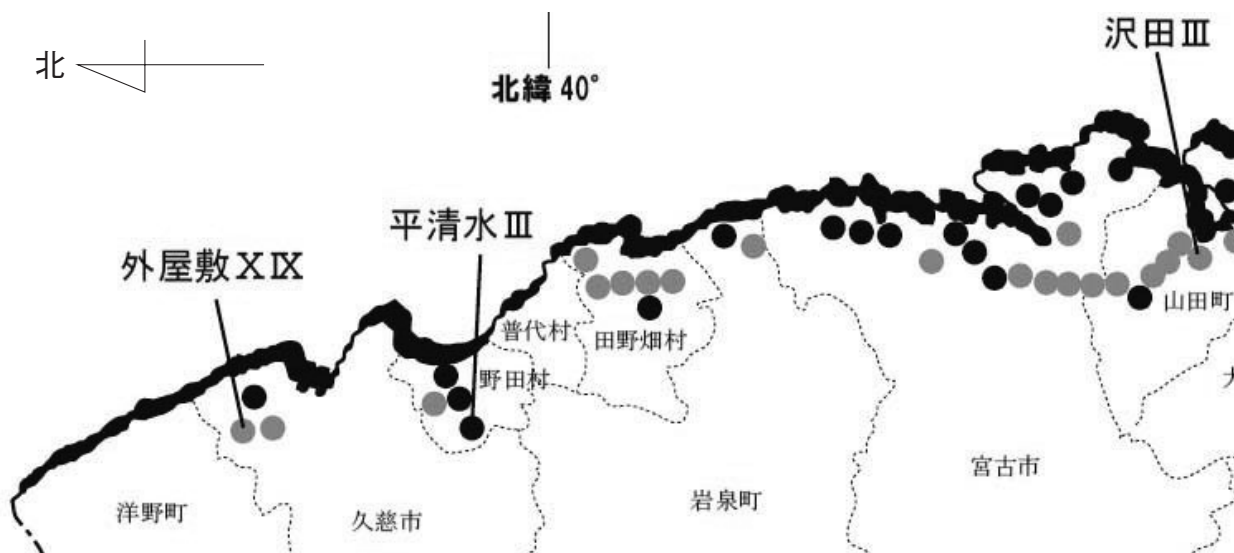
縄文時代早期の久慈市外屋敷ⅩⅨ遺跡(4頁)のほか、野田村平清水Ⅲ遺跡(4頁)、中平遺跡など奈良・平安時代の集落跡の調査で多くの成果がありました。野田村の中世城館伏津館跡では、中国産や東海産陶磁器などが出土しました。来年度も調査が続き成果が期待されます。

田野畑村～山田町では、三陸沿岸道路、集団移転、公営住宅建設、住宅再建関連など30件を超える調査がありました。

田野畑村では縄文時代前期の竪穴住居跡が約70棟見つかった野場Ⅰ遺跡のほか、弥生時代後期としては県内でも珍しい集落跡が見つかった浜岩泉Ⅲ遺跡があります。

宮古市では、市内で最も古い縄文時代草創期の土器や出土例の無かった古墳時代の須恵器が日の出町Ⅱ遺跡から出土しました。津軽石大森遺跡では、奈良時代を中心とする竪穴住居跡33棟を調査しました。田老、重茂地区で初めて古代の集落跡が見つかったことも地域にとって重要な資料となりました。

山田町では、約360基もの陥し穴が見つかった縄文時代の狩場豊間根新田Ⅰ遺跡や町内で初



めて土偶や翡翠が出土した畠中遺跡、最も古い住居跡の見つかった縄文時代早期の石峠Ⅱ遺跡、大きな住居が重なって見つかった中期の集落割畑沢Ⅰ遺跡があります。

この地域で特筆すべきことは、鉄づくりに関連する遺跡が非常に多いことです。山田町の7遺跡に加え、宮古市でも製鉄炉が見つかります。時期は平安時代から中世までにわたり、長い間鉄づくりが盛んだったことが窺えます。

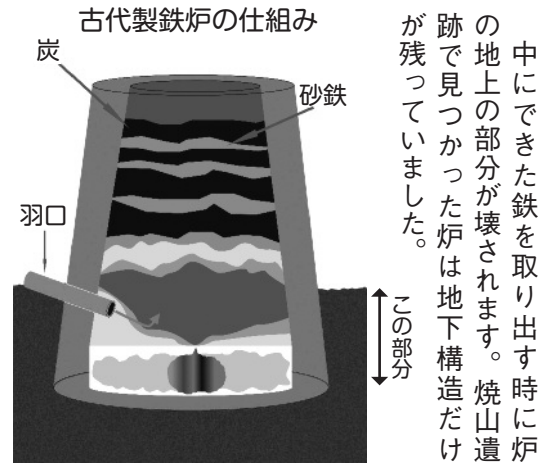
大槌町～陸前高田市では、住宅集団移転や住宅再建など20件余りの調査が行われました。

この地方では縄文時代の貝塚や集落遺跡が多く調査されました。前期では大船渡市宮野貝塚や峯岸遺跡、中期では大船渡市中野遺跡や中村遺跡、陸前高田市の大量の遺物が出土した中～後期の堂の前貝塚があります。

釜石市では片岸貝塚で中期の大型住居跡を市内で初めて検出したほか、晩期の横瀬遺跡で環状配石遺構を調査しました。川原遺跡では鍛冶遺構とともに12世紀平泉藤原氏との関連が窺える遺物が出土しています(5頁)。重要な港であったこの地域の勢力の性格を知るうえで大きな成果がありました。

中世では陸前高田市の花館遺跡など3遺跡が調査されました。大船渡市小出館遺跡では、館のほぼ全容が解明され、中国産磁器、かわらけ、東海産陶器など遺物も多く出土しています。

焼山遺跡の製鉄炉

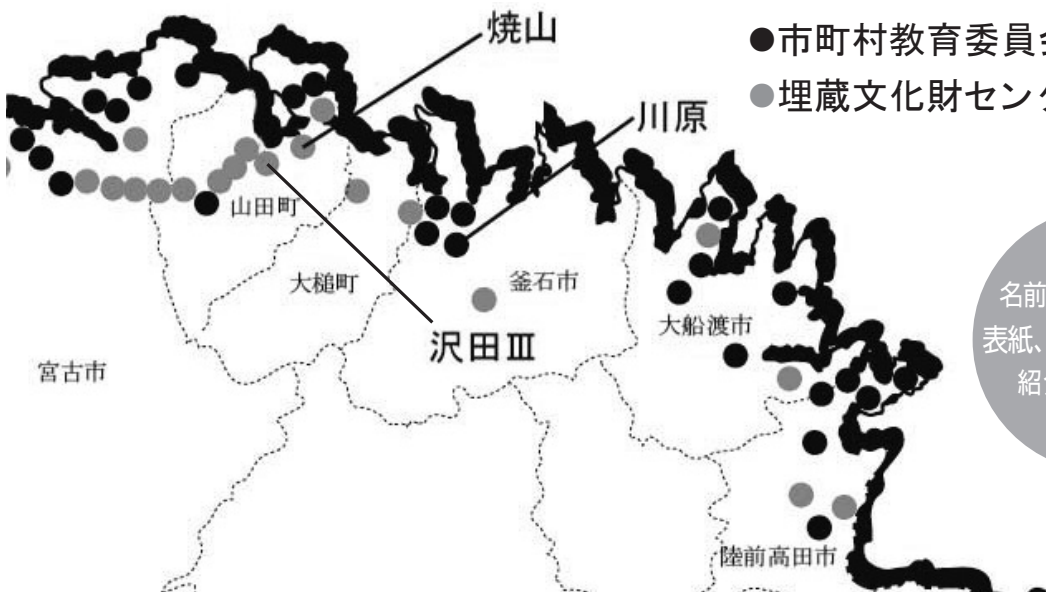


中にできた鉄を取り出す時に炉の地上の部分が壊されます。焼山遺跡で見つかった炉は地下構造だけが残っていました。

製鉄炉には炭と砂鉄を入れて、燃焼させ、羽口から空気を送って温度を高め、還元作用で鉄分を取り出します。砂鉄を産出する宮古、山田周辺では、製鉄遺跡が多く見つかっています。



製鉄作業想像図



- 市町村教育委員会の調査
- 埋蔵文化財センター等の調査

名前を示した遺跡は表紙、4～5頁で詳しく紹介しています

特集 復興関連調査

縄文時代早期の集落を発見

三陸沿岸道路

そとやしき
外屋敷X区遺跡 (久慈市侍浜)・縄文時代

本遺跡は海岸から約1.5km、標高約160mの海岸段丘の中段に立地しています。

今回の調査では、縄文時代早期の竪穴住居跡3棟、焼土遺構3基が検出され、当時の集落跡であることがわかりました。

注目すべきことは、竪穴住居跡の埋土に火山灰が厚く堆積していたことです。この火山灰は黄褐色の軽石状のもので、約8,600年前に十和田の火山の爆発により飛来した南部浮石とみられています。竪穴住居跡は径6～7m、壁高0.3～0.8mで、3棟のうち1棟の床面から焼土が検出されました。また、住居とは別に屋外から炉として使用されたとみられる焼土遺構も検出されています。

出土した土器には大きな特徴があり、底の形



住居跡から出土した尖底土器

が尖っている尖底土器がほとんどです。文様は貝殻で付けられており、この時期の土器の特徴がよくわかります。

埋蔵文化財センター 小野寺純也

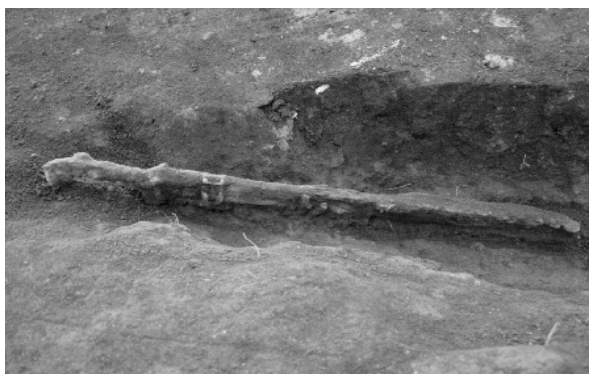
どこうぼ 土壌墓より わらびてとう 蕨手刀が出土

発電所造成

ひらしみず
平清水Ⅲ遺跡 (野田村野田)・古代

野田村では、復興関連によるバイオマス発電所造成工事に伴う平清水Ⅲ遺跡の発掘調査を行いました。

遺跡は三陸鉄道北リアス線陸中野田駅の南西約2.3kmに位置し、明内川沿いの標高40～52mを測る南向きの緩斜面上に立地しています。



出土した蕨手刀

1万2千㎡に及ぶ発掘調査の結果、奈良・平安時代の竪穴住居跡60棟が発見され、同時代の大規模な集落跡であることが明らかになりました。

特に、本所報名である蕨手刀が1振土壌墓から出土したのは、重要な発見と言えます。

蕨手刀は全長約63cmを測り、鞘や青銅製の金具も残っており、保存状態が良好のまま出土しました。蕨手刀が集落跡から単独で見つかることは非常に珍しいです。

蕨手刀は現在、岩手県立博物館にて保存処理中ですが、保存処理が終わりましたら、皆さんに公開できると思いますので、その時を楽しみにお待ち下さい。

野田村教育委員会 井上雅孝

繰り返し行われた鉄づくり

三陸沿岸道路

沢田Ⅲ遺跡 (山田町山田) ・ 古代

沢田Ⅲ遺跡は、町立山田北小学校の北東側約0.3kmに位置しています。この場所は、山田湾に向かって南向きに開けている場所で、現在の山田湾の汀線から0.8kmほど内陸に入った地点です。標高は12～30mで、宮古花崗岩地帯に立地しています。

今回の調査では、調査区の北東側に位置する南谷の傾斜地で、古代の鉄生産関連遺構として、炉跡19基、炭窯跡11基などが確認されました。これらの遺構群は、14×10mほどの狭い範囲の南斜面を何度も掘り込んで構築され、時期の新しい遺構ほど斜面の上方を掘り込んでつくられていました。周囲からは、炉壁や羽口のほか、鉄滓類・炭化材など関連する遺物が数多く出土しました。原料の砂鉄採取、製炭から鉄製品の製作に至る一連の工程が、狭い範囲で濃密に繰



繰り返し行われた鉄づくりの跡

り返し行われていたようです。

今回の調査事例は、沿岸部における古代の鉄生産の様相を知ることができる貴重な事例になるものと思われます。

埋蔵文化財センター 阿部勝則

平泉藤原氏と関連か

土地区画整理

川原遺跡 (釜石市鵜住居) ・ 古代末～中世

本遺跡は、釜石市鵜住居町第13地割川原に所在しており、鵜住居川と長内川に挟まれた標高4m前後の低地部に立地します。平成25年11月～平成26年1月、鵜住居地区被災市街地復興土地区画整理事業に伴い、緊急発掘調査を実施しました。

今回の調査は、平成14年度に緊急発掘調査を実施した市道鵜住居64号線道路の西側、山裾部分の範囲を調査しました。主に古代～中世(12～13世紀代)の遺構と遺物が多く確認されており、特に12～13世紀代と考えられる礎石のある掘立柱建物跡は有力者の居館と推測されます。

出土遺物は、中国産磁器(白磁・青磁・青白磁)、東海産陶器(常滑・渥美・古瀬戸)、かわらけ、硯、温石(古代のカイロ)、漆器、鉄製品

(釣針・鍋など)、鍛冶関連遺物(鍛冶滓・フイゴの羽口)などの平泉文化の影響を受けていると考えられる遺物がまとまって出土しています。

川原遺跡の有力者と平泉の藤原氏との関係がどのようなものであったのかを今後考える上で重要な遺跡になるといえます。

釜石市教育委員会 高橋 岳



かわらけ、中国産磁器、東海産陶器が出土した川原遺跡

古代の大集落や平泉藤原氏の遺跡など

平成25年度 通常調査の成果

公益財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター

埋蔵文化財センターの通常調査は3市1町の8遺跡、約23,000㎡で、今年度調査の約1割ですが、こちらでも大きな成果が上がっています。

北上川のほとりに広がる古代の村

北上市二子町に所在する千苺遺跡は、現在の河床面から4～5mの高さの北上川西岸の自然堤防上に立地しています。3か年で27,000㎡を調査しました。最終年度の調査であった今年度は、古代の住居跡57棟、焼成土坑58基、畝間状遺構17箇所、溝跡1条が見つかりました。累計で、竪穴住居跡が97棟、焼成土坑が120基に達しています。住居群は西側及び北側にもさらに拡大することが明らかで、平安時代の北上川中流域に大規模な集落が展開していたことが分かりました。



伽羅之御所を囲む堀と柱穴

土偶や大量の土器などが見つっています。墓は小判形をしており、遺体を埋葬した時に遺体に撒いたと思われる赤色の顔料や頭蓋骨、歯、四肢骨などが残っている墓もありました。集団で墓を営む弥生時代前半の時期の埋葬方法を知る貴重な資料が得られました。

弥生時代の^{どこうぼ}土壇墓も発見

併せて、古代の遺構が見つかった下位の層から、弥生時代初めころの土器捨て場と7基の墓の跡が見つかりました。土器捨て場からは、



弥生時代の土壇墓 矢印が顎の骨

伽羅之御所を囲む堀を検出

平泉町に所在する伽羅之御所跡は、北側で国史跡柳之御所遺跡と西側で特別史跡無量光院跡と接するように位置しています。鎌倉時代の歴史書『吾妻鏡』に、「無量光院の東門に一郭を構ふ。秀衡が常の居所なり。泰衡これに相継ぎて居所となせり」と記載のある、平泉遺跡群の中核遺跡です。過去の調査には、12世紀の道路遺構や後に国の重要文化財となった白磁水注を出土した井戸跡などの調査が行われています。

今回の発掘調査は、伽羅之御所跡の第22回目の調査で、12世紀関連の遺構として、堀跡1

条、掘立柱建物跡1棟、土坑4基、柵跡5条、溝跡3条、柱穴242個が見つかりました。特に、堀跡は北北東から南南西方向に延びており、『吾

妻鏡』に出てくる「伽羅之御所」を取り囲む堀であったと考えられています。来年度も調査が行われることになっています。(調査課)

平成25年度 埋蔵文化財センター発掘調査遺跡一覧

No.	遺跡名	ふりがな	所在地	調査面積(m ²)	調査期間	事業名	主な時代	
通常調査・8遺跡	1	千刈	せんがり	北上市	11,265	5/2～12/20	北上川中流域河川改修事業	弥生包含層・奈良～平安集落
	2	伽羅之御所 第22次	きゃらのごしょ	平泉町	280	4/10～6/5	県道中尊寺通り改良事業	12世紀後半 堀跡
	3	花立Ⅰ 第30次	はなだて1	平泉町	2,175	4/10～12/12	県道中尊寺通り改良事業	12世紀後半
	4	花立Ⅱ 第24次	はなだて2	平泉町	795	4/10～12/12	県道中尊寺通り改良事業	12世紀後半
	5	漆町	うるしまち	奥州市	2,899	4/4～7/12	経営体育成基盤整備事業都鳥3期地区	古代集落
	6	小野	この	一関市	423	4/8～5/17	経営体育成基盤整備事業日形地区	古代畠跡、集落
	7	町裏Ⅰ	まちうら1	一関市	2,506	4/8～6/18	経営体育成基盤整備事業日形地区	平安畠跡・近世畑跡
	8	町裏Ⅱ	まちうら2	一関市	2,609	4/8～6/18	経営体育成基盤整備事業日形地区	平安畠跡
小計				22,952				
復興調査・30遺跡	9	不動ノ滝	ふどうのたき	釜石市	874	4/10～5/14	東北横断自動車道釜石秋田線	縄文 土坑7基
	10	上長部館	かみおさべ	陸前高田市	6,950	8/1～10/4	三陸沿岸道路	縄文 土坑8基・中世
	11	松磯	まついそ	大槌町	3,900	8/19～10/15	三陸沿岸道路	縄文 土坑25基
	12	沢田Ⅲ	さわだて3	山田町	6,000	4/9～12/6	三陸沿岸道路	縄文中期 集落・古代 集落 鉄生産遺構
	13	間木戸Ⅰ	まぎど1	山田町	1,600	11/5～11/28	三陸沿岸道路	縄文 集落
	14	間木戸Ⅱ	まぎど2	山田町	1,510	4/9～7/31	三陸沿岸道路	縄文中期 集落・古代 集落
	15	間木戸Ⅴ	まぎど5	山田町	1,200	4/9～6/30	三陸沿岸道路	縄文中期 集落・古代 集落 鉄生産遺構
	16	石峠Ⅱ	いしとうげ2	山田町	4,700	7/1～12/20	三陸沿岸道路	縄文早期ほか集落 狩場
	17	豊間根新田Ⅰ	とよまねしんてん1	山田町	15,400	7/1～12/12	三陸沿岸道路	縄文狩場
	18	津軽石大森	つがるいとおもり	宮古市	3,455	4/10～8/27	三陸沿岸道路	縄文集落・奈良集落
	19	金浜Ⅴ	かなはま5	宮古市	1,600	7/16～8/21	三陸沿岸道路	縄文集落・中世 鉄生産遺構
	20	乙部	おとべ	宮古市	2,500	10/15～11/28	三陸沿岸道路	縄文 土坑2基
	21	小成Ⅱ	こなり2	岩泉町	1,900	7/1～10/11	三陸沿岸道路	縄文中期 集落
	22	鳥越ⅩⅣ	しまのこし14	田野畑村	1,400	8/19～11/22	三陸沿岸道路	縄文中期集落
	23	鳥越Ⅱ	しまのこし2	田野畑村	3,100	7/1～8/9	三陸沿岸道路	縄文狩場 陥し穴17基
	24	浜岩泉Ⅲ	はまいわいずみ3	田野畑村	2,070	8/19～12/20	三陸沿岸道路	縄文中期・弥生後期集落・古代鍛冶場
	25	菅窪	すげのくぼ	田野畑村	1,600	10/15～11/15	三陸沿岸道路	縄文後期 集落
	26	伏津館	ふしつだて	野田村	7,300	9/2～11/28	三陸沿岸道路	縄文狩場・中世城館
	27	外屋敷ⅩⅨ	そとやしき19	久慈市	5,640	9/17～12/6	三陸沿岸道路	縄文早期集落
	28	北野ⅩⅢ	きたの13	久慈市	3,700	11/1～11/28	三陸沿岸道路	縄文
	29	弘川Ⅱ	はらいかわ2	宮古市	1,600	9/17～12/6	三陸沿岸道路	古代集落・中世塚跡
	30	弘川Ⅲ	はらいかわ3	宮古市	4,800	9/17～12/6	三陸沿岸道路	縄文狩場・古代鍛冶場
	31	野場Ⅰ	のば1	田野畑村	6,351	4/4～7/12	災害公営住宅整備事業 漁業集落防災機能強化事業	縄文前期集落・古代集落
	32	中野	なかの	大船渡市	9,000	4/4～9/13	防災集団移転促進事業(崎浜地区)	縄文中期集落
	33	峯岸	みねぎし	大船渡市	4,512	4/8～10/31	防災集団移転促進事業(峯岸地区)	前期集落
	34	赤前Ⅲ	あかまえ3	宮古市	5,900	8/19～12/20	防災集団移転促進事業 (赤前・津軽石地区)	縄文前期集落・平安集落、鍛冶場
	35	田の浜館	たのはまだて	山田町	52,700	4/8～8/23	防災集団移転促進事業(田の浜地区) 町道船越田の浜線	古代鉄生産遺跡・中世城館
	36	焼山	やけやま	山田町	3,900	9/17～11/28	防災集団移転促進事業(焼山地区)	平安鉄生産遺跡
	37	花館	はなだて	陸前高田市	6,050	4/9～7/11	土地造成事業	中世城館、鍛冶場
	38	小滝沢	こたきざわ	釜石市	1,060	11/1～11/28	区画整理事業(片岸地区)	縄文集落・古代集落
小計				172,272				
38 遺跡			8市4町2村	195,224				

第34回 埋蔵文化財展 紫波町で開催

第34回埋蔵文化財展は平成25年11月14日(木)～17日(日)まで紫波町の情報交流館(おガールプラザ)で開催しました。

環状の集落構造で有名な縄文時代中期の西田東遺跡や12世紀平泉藤原氏の関連遺跡である南日詰小路口Ⅰ・Ⅱ遺跡など紫波町内から発掘された貴重な遺物を展示しました。



展示解説会



見学を訪れた小学生

今回の埋蔵文化財展は岩手県立博物館、岩手県立美術館、岩手県民会館と合同で行われ、コンサートや学芸員による講座などもあり、大勢の見学者でにぎわいました。

14日、15日には紫波町内の星山、彦部、上平沢各小学校の児童のみなさんが見学を訪れ、ふるさとの歴史を学びました。

第35回 埋蔵文化財公開講座 第16回 遺跡報告会

今年度の埋蔵文化財公開講座、遺跡報告会は平成26年2月15日(土)岩手県民会館で行われました。

公開講座は物質文化研究所一芦舎代表の名久井文明先生が『民俗考古学からわかったこと—現代に伝わった縄文技術—』と題した講演を行いました。

遺跡報告会は岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターが行った調査から以下の5遺跡について報告しました。

外屋敷ⅩⅨ遺跡(久慈市:縄文時代早期)
豊間根新田Ⅰ遺跡(山田町:縄文時代)
浜岩泉Ⅲ遺跡(田野畑村:弥生時代後期)
津軽石大森遺跡(宮古市:奈良・平安時代)、
焼山遺跡(山田町:平安時代)



模型を使って樹皮の剥ぎ方を説明する名久井先生

発行 岩手県立埋蔵文化財センター
編集 (公財)岩手県文化振興事業団
埋蔵文化財センター
〒020-0853 岩手県盛岡市下飯岡11-185
電話 019-638-9001
URL <http://www.echna.ne.jp/~imaibun/>
E-mail i-maibun@echna.ne.jp
発行日 平成26年2月28日
印刷 河北印刷株式会社